

会員の
ひろば

ご当地検定受験意義如何 ～くしろ検定受験を通じて～

早川 哲也

受験の動機

ご存知のとおり、私たちの職場は、非常に転勤の多いところですよ。ある日、各現場の所長が集まった会議で、このような問題提起がありました。「地元のイベントに参加する職員が減ったような気がする。」私のくしろ検定の受験は、これがきっかけです。

転勤の多い職場では、どうしても単身赴任という現象が発生します。単身赴任になると、当たり前ですが、週末の多くは家族のもとに帰り、地元のイベントに参加しづらくなります。転勤の多さや単身赴任の状況では、自分が「この地元の住民である。」という意識が低くなり、地元のために良い仕事をしなきゃと本当に思えるのかという疑問を持ち始めました。

この疑問が真なのかどうかはさておき、職場に受験の声かけを行ったところ、4人の若手職員が一緒に受験しました。これには、うちの若手も捨てたものではないと感激しました。なお、この内1名は、職場のボーリング大会の最下位の商品として、受験料免除(私の支払い)により受験しています…。

一方、受験を残念ながら遠慮した方(釧路市出身・在住)には、こういう理由もありました。「受けても受かりません！」(勉強しないと、そりゃそうだろう。)

受験の効果

受験料は3,150円(学割やシニア割あり)。さて、受験による効果は？ くしろ検定の公式の目的は次のようにされています。『釧路地域の魅力を再発見し、釧路地域を訪れる観光客などに対する地域全体のホスピタリティを高めると共に観光ボランティア案内人の育成及び生涯学習や未来を担う子供たちに地域の歴史・文化の伝承などにも寄与していくこ

と。』私が、どれだけ寄与しているかは難しいところではありますが、私にとっては次のような効果があったのかなと実感しています。

- ・釧路市の歴史は、ある意味、港の歴史で、釧路港の視察をされる方への説明の幅が広がりました。(なるほど！という説明に変わります。これは技術屋にとって、とても重要だと思います。)
- ・釧路の名物、観光地やお祭りを勉強するので、遊びの幅が広がりました。(地域経済の活性化にも貢献！？)
- ・釧路が更に好きになりました。(一番大事)

受験生を見回すと、釧路の某高校生が団体で受験していました。折しも隣国との問題がクローズアップされ、国家主権や愛国心について問われている中、まずは愛地元心(地元愛?)が必要でしょう。これは、とても重要な効果と感じます。

おわりに

前号で、全国的にご当地検定の中止が増えているという話があり、ちょっと残念に思いました。様々な効果を考えると、職場や学校で義務的に受験しても十分に良いものだと思います。また、この執筆をきっかけに、出身地の小樽の「おたる案内人」のHPを見ました。合格者の特典の充実に驚きです。試験実施側の工夫も大事かもしれません。

早川 哲也 (はやかわ てつや)

北海道開発局 釧路開発建設部

釧路港湾事務所

